

No.

「農村生活改善協力のあり方に関する研究」検討会

第3年次報告書（第5分冊）

ーセミナー・プロシーディングー

2004年3月

独立行政法人 国際協力機構

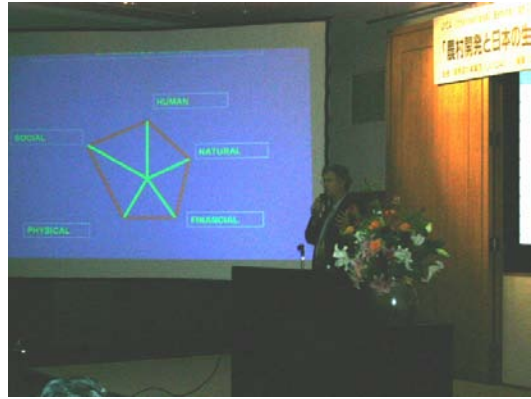
農調計

JR

04-37



# 東京国際セミナーの様



山口県セミナーの様



東京国際セミナーの様相 (写真)

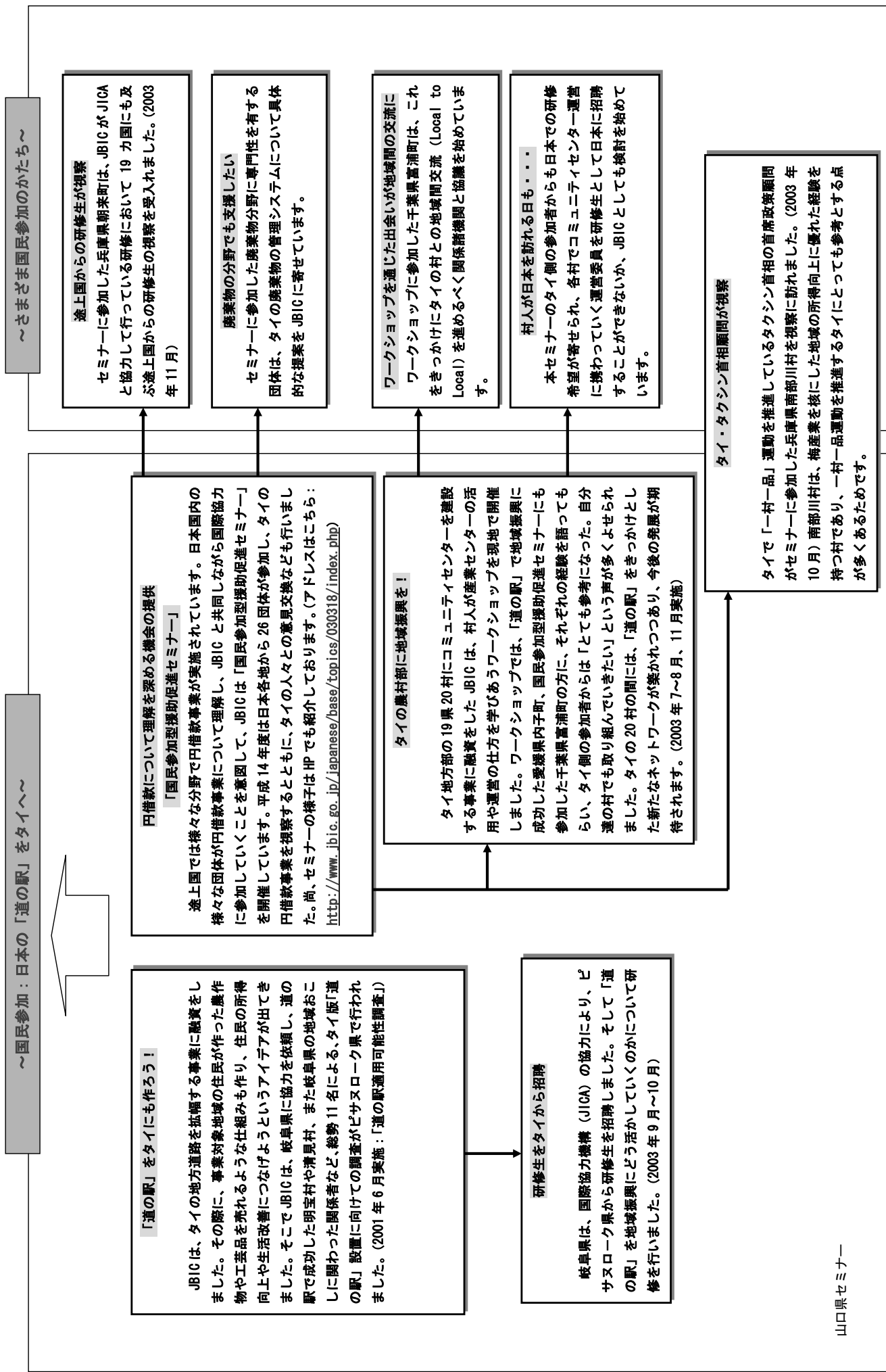
山口県セミナーの様相 (写真)

## 目次

第1章 東京国際セミナー	1
1-1 挨拶	1
1-2 はじめに	3
1-3 プログラム	4
1-4 講師・パネリスト紹介	5
1-5 基調講演	7
1-6 パネリスト報告	15
1-7 ディスカッション要旨	20
第2章 山口県セミナー	29
2-1 挨拶	29
2-2 はじめに	32
2-3 プログラム	33
2-4 講師・パネリスト紹介	34
2-5 基調講演	36
2-6 報告	42
2-7 活動事例紹介	48
2-8 パネリスト報告	61
2-9 ディスカッション要旨	63
付属資料	75
東京国際セミナー	77
ヤン・ジョンソン-FAO-基調講演 PP 資料	77
佐藤寛-アジア経済研究所-基調講演 PP 資料	84
ノーマン・アッポフ-コーネル大学-パネリスト報告 PP 資料	90
東京国際セミナー参加者リスト	91
山口県セミナー	94
河野善彦-JBIC-基調講演別添資料	94
佐藤寛-アジア経済研究所-報告 PP 資料	95
山田櫻子-元 JICA 専門家-活動事例紹介資料	98
高光尚-田布施農林事務所-活動事例紹介 PP 資料	108
山口県セミナー参加者リスト	113



国際協力銀行 (JBIC) が取り組んでいる国民参加(例)



## 忘れられた日本の経験 ～生活改善グループの宝～

農村生活改善協力のあり方に関する研究  
JICA山口県セミナー  
2003/11/26  
佐藤寛(アジア経済研究所)



(愛媛県・高岡ミエ子氏提供)

## 先進国・援助大国としての日本

- ◇ 世界一、二を争うODA(政府開発援助)大国
- ◇ 民間のNPO、NGOによるボランティア活動  
例)「途上国に薬を送ろう／毛布を送ろう」  
「途上国に学校を建ててあげよう」  
「フォスターペアレント(里親)」  
「農村開発支援」
- ◇ 青年海外協力隊員の活躍  
→途上国に行き、出来ることはたくさんある
- ◇ しかし...  
国際協力は、若者・英語のできる人だけの仕事?

2003/11/26 seikai/2003 2

## 途上国からの研修生のまなざし

- ◇ 貧困削減、農村開発のための研修生の増加  
→「一村一品運動」「道の駅」の見学
- ◇ 日本＝お金持ち、工業立国、ハイテク国家
- ◇ 日本と母国との接点……「ない」  
→「日本に研修に行ったら、トヨタとソニーとセイコーの工場を見学し、秋葉原で電化製品を買い、安い中古車を買って帰ろう」
- ◇ 日本には伝えるべきものがないのか？

2003/11/26 seikai/2003 3

## 日本人は、途上国からの研修生に何を伝えられるのか

- ◇ 現在の日本  
農村の過疎、高齢化、地域興しの課題
- ◇ 現在の途上国  
過剰人口、貧困削減、保健衛生の改善  
現金収入獲得、地域の自立・活性化  
→接点は少ない？
- ◇ 「途上国だった頃の日本」の経験は？

2003/11/26 seikai/2003 4

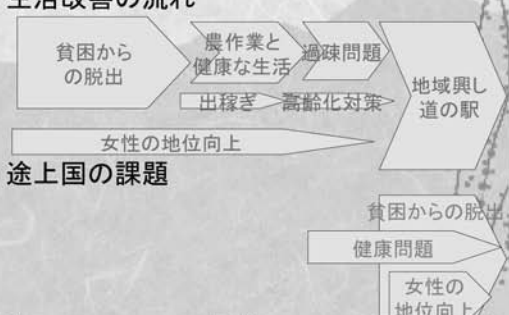
## 高度経済成長(1960-70年代) 日本はなぜ奇跡を遂げたのか？

- ◇ 高度経済成長(日本の奇跡 Japanese Miracle)  
所得倍増政策  
官民一体の「株式会社ニッポン」  
→本当にそれが「成功のカギ」なのか？  
それならば経済官僚に研修すればよい
- ◇ 高度成長の前にあった  
貧困からの脱出への努力こそが  
「成功のカギ」ではないのか  
→生活改善運動

2003/11/26 seikai/2003 5

## 生活改善の流れと途上国の今

- ◇ 生活改善の流れ



- ◇ 途上国の課題

2003/11/26 seikai/2003 6



## 生活改善運動～力を合わせて

共同炊事      共同保育



(出典:スライド『農村生活改善普及事業(展)』)

2003/11/26      seikai/2003      7

## 生活改善運動～行政の働き

◇ 生改さん      ◇ 保健婦さん



(出典:スライド『生活改良普及員の一日』)      (出典:スライド『日本の農業・農業開発と人口』)

2003/11/26      seikai/2003      8

## 生活改善運動～自力でカイゼン

◇ 布団皮のカイゼン      ◇ 卵貯金



(出典:鹿児島県松田フミ氏提供)      (出典:スライド『日本の農業・農村開発と人口』)

2003/11/26      seikai/2003      9

## 高度成長を準備し・支えた生活改善

- ◇ 1945(敗戦)～1964(東京オリンピック)  
途上国だった日本→貧困からの脱出に成功  
その背後には……
- ◇ 戦後の復興・再建＝「考える農民」の育成
- ◇ 経済復興の基盤としての農村作り  
健全な判断力、健康な労働力、改善への地域ぐるみの取り組み
- ◇ グループ活動による  
個の成長→グループの成長→地域の発展

2003/11/26      seikai/2003      10

## 途上国への教訓

- ◇ 貧しい女性がグループで問題解決  
農繁期の共同炊事、共同保育
- ◇ お金をかけずに  
作業着の改良、改良味噌
- ◇ 自力で資金調達  
頼母子講、卵貯金、山羊貯金、椎茸栽培
- ◇ 行政との協力  
キッチンカー、蚊とハエをなくす運動
- ◇ 地域ぐるみの活動  
新生活運動  
→住民グループ、生改、末端行政の役割

2003/11/26      seikai/2003      11

## 現在の途上国に必要なもの

- ◇ 急速な開発の前に「カイゼン」
- ◇ 自律的・主体的な取り組み
- ◇ 責任感のある普及員とそれに応える農民グループ
- ◇ 行政と住民の呼応関係・信頼関係

忘れられた日本の経験が役に立つのではないか? →伝えられるのは生改グループ

2003/11/26      seikai/2003      12

途上国と対話出来るのは  
海外ボランティアだけではない

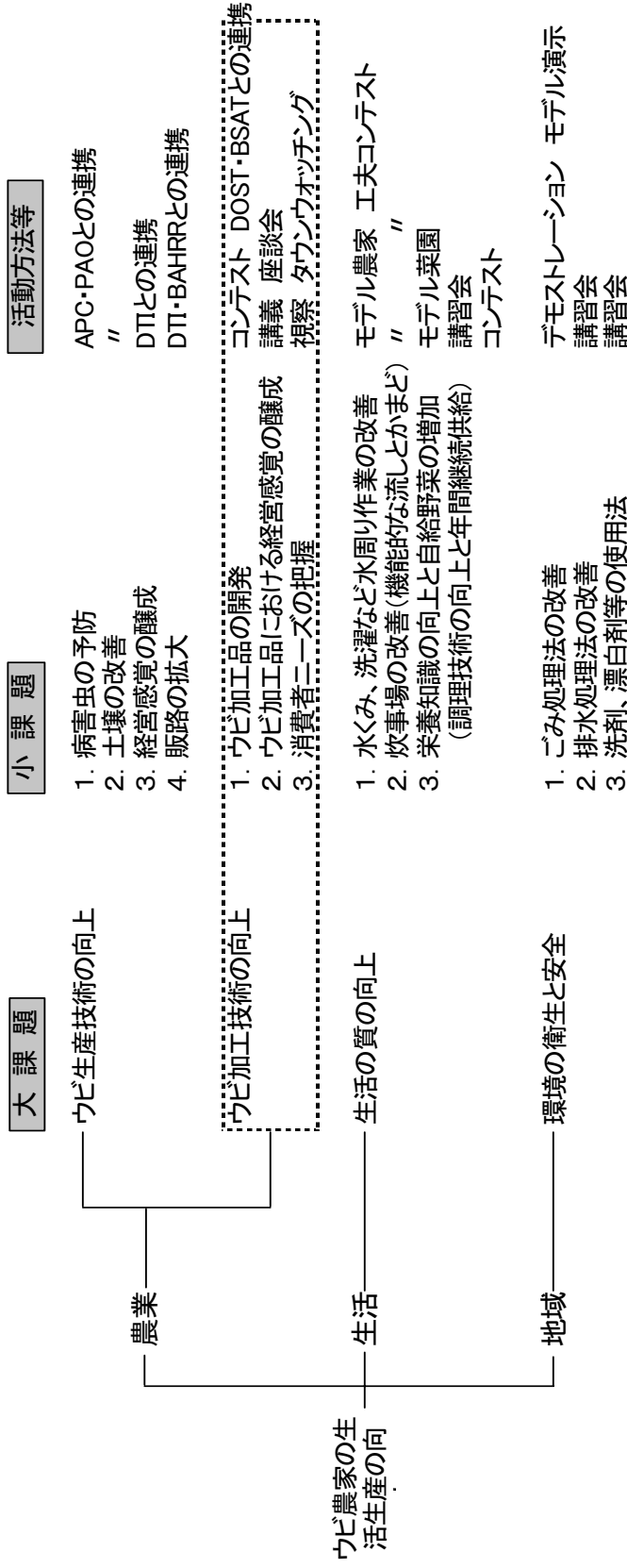
- ◇ 50年の歴史を持つ生活改善グループ  
=「道の駅」を支える人々
- ◇ 地域おこしと農村開発の根っこはひとつ
- ◇ 自分たちの工夫でカイゼンしていく工夫
- ◇ 利用できる資源を何でも持ってくる
  
- ◇ 「日本の宝」としての生活改善グループ

2003/11/26

seikai/2003

13

ウビ農家の生活・生産向上活動の概念図 **フィリピンボホール州の事例(LGUとともに実施)**



連携機関

LGU(Local Government Unit ここでは、コレリア町の普及指導関係者)  
 APC(Agricultural Promotion Center 農業振興センター)  
 PAO(Provincial Agricultural Officer 州農業事務所)  
 DTI(Department of Trade and Industry 貿易産業省)  
 BAHRR(Bohol association of Hotel Resort and Restaurant. ボホール地域ホテル・リゾート・レストラン協会)  
 DOST(Derartment of Science and Technology 科学技術省)  
 BSAT(Bohol School of Arts and Trade ボホール農業・技術学校)

注: 1) 活動に対して関係機関にも理解を得るため作成した

ウビ (キナンパイ) 料理/加工 セミナー

1. おかず 加工品 (最優秀献立) の演示



2. JICA/F.T.C.によるウビ・パウダーづくりの演示



3. 栄養とバランスについての講話



4. ウビパウダーの加工過程



## ウビ（キナンパイ）料理／加工品のコンクール

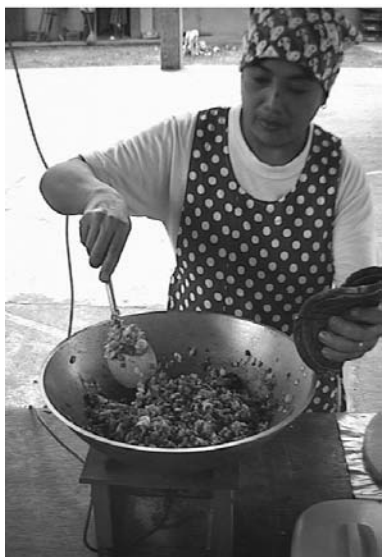
### 1. 提出された献立の審査会



### 2. 選ばれた献立の演示／審査員の審査



おかずの部（優秀献立）



第1位 **Arozvalenciana**



第2位 **Chicken Guisado**



第3位 **Chicken Calderita**



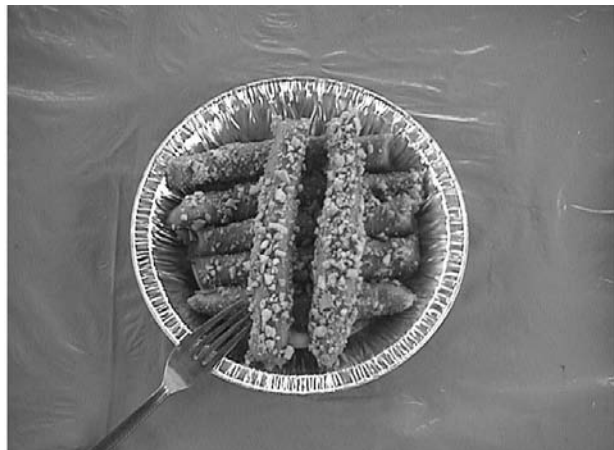
加工品の部（優秀献立）



第1位 **Ubi Raisin Nuts Cake**



第2位 **Sumam Ubi**



第3位 **Ubi Bibingka**



ボホール島のパイロット村落の生活実態

(コレリア町の水まわりの環境)

写真 01

水の確保は、どこの村落でも大変である。水道はほとんどなく、雨水をためている農家もある。



写真 02

深井戸を掘りポンプで汲み出している。



写真 03

農家の一般的な台所のカマド（コンロ）の状況





写真 04  
農家の一般的な台所の  
棚・台



写真 05  
農家の一般的な台所。竹を  
利用して流し台もつくら  
れている。



写真 06  
流しの水も流し台の竹の  
すきまからそのまま流さ  
れる。  
(写真 05 を外側から見た  
ところ)



写真 07

多くの農家の台所等の排水はたれ流されている。



写真 08

排水口から竹筒で排水路まで導いている。



写真 09

竹の排水路をつくり,カラバオが水浴するプールにしているところもある。



写真 10  
水田に作られたカラバオ  
のプール



写真 11  
洗濯・洗面・シャワーは、  
近くの泉から水をひいて  
利用している。

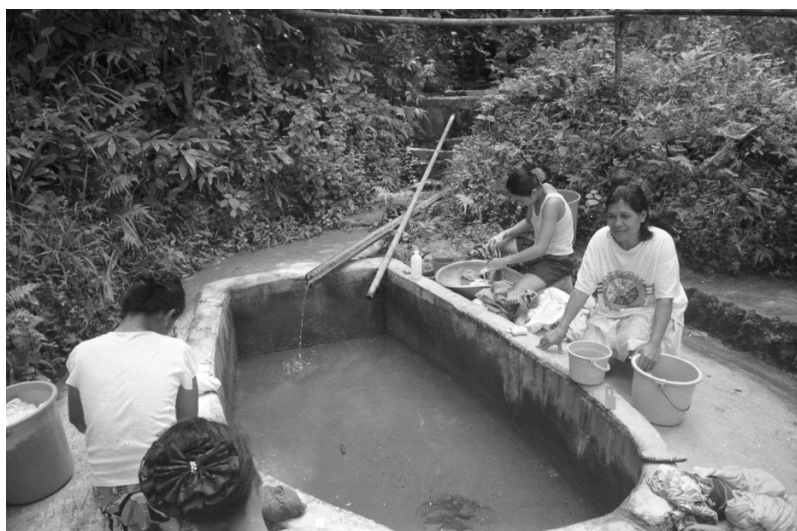


写真 12  
母屋から離れた農家のト  
イレ(外側)

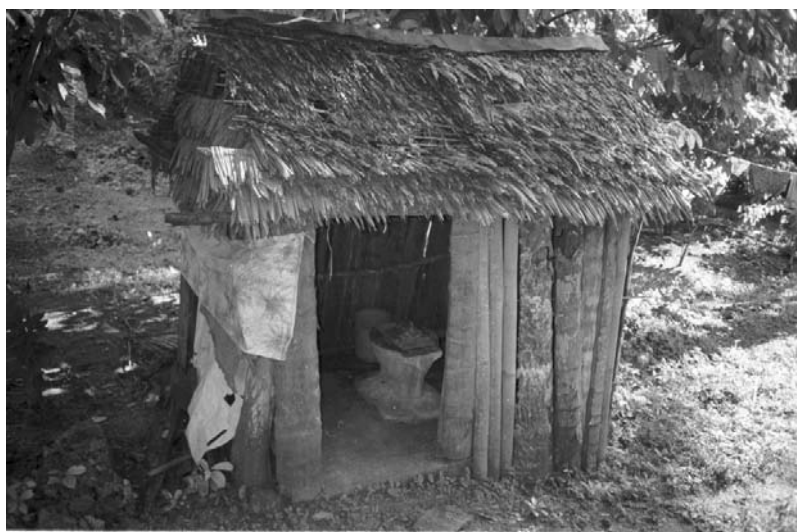


写真 13  
母屋から離れた農家のト  
イレ(内側)



写真 14  
母屋と併設されているト  
イレ



## バングラデシュの暮らしと 村落開発協力の事例について

山口県田布施農林事務所企画振興室  
主任 高光 尚

## 1 発展途上国と接したきっかけ は……

- 青年海外協力隊への参加  
(昭和61年12月～平成元年12月)
- ↓
- 山口県職員に採用
- ↓
- JICA(国際協力機構)のバングラデシュプロジェクトへ短期派遣  
(平成14年12月～平成15年1月)

## バングラデシュはどこ？



- 正式名称:バングラデシュ人民共和国
- 政体:共和制
- 首都:ダッカ
- 面積:14万4000平方km(北海道の約2倍)
- 人口:1億2925万人(2001年)
- 民族:ベンガル人
- 公用語:ベンガル語
- 宗教  
イスラム教88.1%、ヒンズー教10.5%

## 気 候

- 気候  
典型的な熱帯モンスーン気候  
高温多湿、洪水、サイクロン、高潮、竜巻
- 季節  
夏季(4～5月)、雨季(6～10月)  
冬季(11～1月)、春季(2～3月)  
年間降水量の80%が雨季に集中。



2 バングラデシュの暮らしについて

(1) 伝統的農業の特色

(2) 村の暮らし

(1) 伝統的農業の特色

- 洪水被害に適応した稲作を中心とした多毛作

時期	水稻	その他主要作物
雨季	アウス稲 アマン稲	ジュート
乾季	ボロ稲	豆、小麦、雑穀、マスタード、野菜



(2) 村の暮らし



村のバザール



生活レベルの実状

- 識字率 男性49%、女性26%  
(2000年ユニセフ子供白書)
- 平均寿命 男性56.9歳、女性 56歳 (1998年)
- 乳児死亡率 107.5/1,000人(1998年)

雨水利用



ポンド・サンド・フィルター  
(PSF)

池の水を砂利槽と砂槽で浄化して飲む



NGOの活動

- マイクロクレジット(少額融資事業)
- 技能訓練(畜産、養鶏、魚養殖、野菜栽培等)
- 家族計画、保健衛生、母子保健、栄養改善のサービス提供
- 初等教育プログラム  
→途中で退学した児童を復帰させる。



NGO主体の農村開発にも限界？

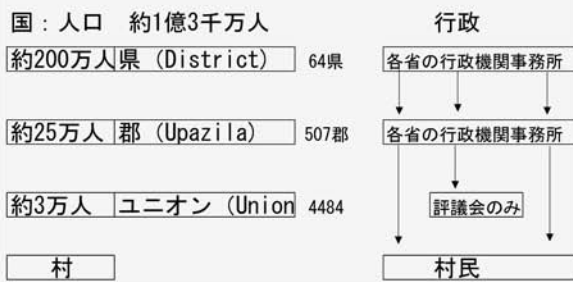
### 3 村落開発協力の事例について



#### (1) JICA (国際協力機構) の Bangladesh プロジェクトへ短期派遣

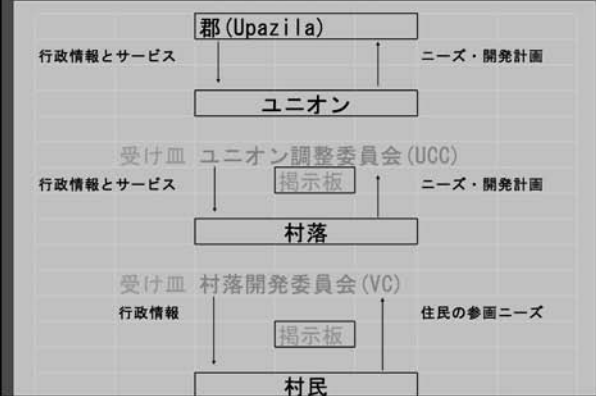
- ・ プロジェクト名 住民参加型農村開発行政支援計画
- ・ 派遣期間 平成14年12月21日～平成15年1月18日
- ・ 本邦所属先 Bangladesh 農村開発公社

#### Bangladesh の行政の仕組み



- ・ 「ユニオン」に行政機関がない (評議会のみ)
- ・ 行政は村まで縦にバラバラ (横の連携もない)
- ・ 「ユニオン」にも「村」にも受け皿がない

#### リンクモデル



村落開発委員会 (VC)



ユニオン調整委員会 (UCCM)



村の掲示板を活用した情報の共有化



手渡しによる開催通知の配布



### 行政サービスを請ける住民



### 女性組合による全戸トイレの設置



## (2) 帰国後の国内での支援活動

- ・ 本プロジェクトの人材育成研修の受け入れ

○第1回:平成15年4月21日  
田布施町小行司、平生町役場等

○第2回:平成15年11月17～18日  
大島町役場、沖浦農業管理センター等



## 4 最後に・・・

山口県セミナー参加者リスト

山口県セミナー参加者

区分	名前	所属機関	役職
リソースパーソン	河野 善彦	国際協力銀行	顧問
	佐藤 寛	日本貿易振興機構／アジア経済研究所	開発研究センター参事
	國本 展子	山口県	農家生活改善士
	山田 瓊子	検討会委員	元JICA専門家
	高光 尚	検討会委員	田布施農林事務所
	藤井 チエ子	検討会委員	元山口県農林部参事
	堀家 欣子	(社)農山漁村女性・生活活動支援協会	参与
招待者	矢住 ハツノ	熊本消費者協会	会長
	甲斐 智子	広島県	元生活改良普及員
	高岡 ミエ子	長崎県立農業大学校	講師
	安里 千恵子	沖縄県営農推進課	営農生活係長
	田中 尊子	元長崎県長崎農業改良普及センター	普及センター次長
	古賀 佐智	友和双葉会	会長
委員	太田 美帆	レディング大学大学院	博士課程
	西潟 範子	元西蒲原農業普及センター	参事
WG	伊藤 ゆうこ	広島大学大学院	博士課程
JICA	平松 紀延	農林水産開発調査部	部長
	伊藤 幸範	同 計画課	Jr. 専門員
	中村 史	中国国際センター	
	坂部 秀孝	九州国際センター	
	岩崎 真紀子	九州国際センター	
	矢敷 裕子		海外長期研修員
山口県	磯村 豊子	農林部	審議監
	福島 洋子	農林部経営局普及課	農村生活班長
	吉武 和子	農林部経営局普及課	
	弘中 純子	農林部経営局普及課	
	中村 智美	農林部経営局普及課	
	大賀 玲子	農林部経営局普及課	
	岡 千代子	農林部経営局普及課	
	山内 光子	水産課	
AICAF	佐川 俊男		専務理事
	米山 正博	業務部	部長
	小林 裕三	業務部	部長代理
	寺山 裕子	業務部	臨時職員
一般	荒瀬 澄枝	山口県協力隊を育てる会	副会長
	宇佐美 晃一	山口大学農学部	助教授
	柴 静子	広島大学大学院教育学研究科	教授
	浜本 篤史	広島大学国際協力研究科	研究員
	辰巳 佳寿子	山口大学	講師
	深田 裕子	農家生活改善士	
	村井 サヨ子	農家生活改善士	
	石川 俊子	農家生活改善士	
	三浦 美津代	農家生活改善士	
	柳 美津子	農家生活改善士	
	緒方 仙子	農家生活改善士	
	重村 さつき	農家生活改善士	
	阿武 芙美子	農家生活改善士	

山口県セミナー参加者リスト

	中田 純子	農家生活改善士	
	三嶋 八重子	農家生活改善士	
	太田 チヅ子	農家生活改善士	
	山本 シゲ子	農家生活改善士	
	秋本 喜代子	農家生活改善士	
	佐々木 幸代	農家生活改善士	
	木村 ひろみ	農家生活改善士	
	楊井 敦子	農家生活改善士	
	大石 恭子	農家生活改善士	
	小野 克美	農家生活改善士	
	高津 房子	農家生活改善士	
	岡本 文江	生活改善実行グループ連絡協議会	
	勝岡 成子	生活改善実行グループ連絡協議会	
	安永 鞠子	生活改善実行グループ連絡協議会	
	時廣 富美子	生活改善実行グループ連絡協議会	
	内永 従子	生活改善実行グループ連絡協議会	
	吉村 信子	生活改善実行グループ連絡協議会	
	浜本 陽子	生活改善実行グループ連絡協議会	
	福江 香代子	生活改善実行グループ連絡協議会	
	古田 百合恵	生活改善実行グループ連絡協議会	
	中野 逸子	生活改善実行グループ連絡協議会	
	田中 千枝子	周東町農林課	
	山本 美麻	東和町経済観光課	
	杉村 典彦	周南市鹿野総合支所	
	徳永 キミ子	秋穂町農林水産課	
	山村 恵美子	阿東町産業振興課	
	岩崎 安己江	岩国農林事務所	
	西村 美和	岩国農林事務所	
	下野 朋子	田布施農林事務所	
	平田 三佳	田布施農林事務所	
	田中 裕子	周南農林事務所	
	杉 富士子	山口農林事務所	
	中塚 千晶	山口農林事務所	
	金谷 京子	美祢農林事務所	
	磯部 康子	元生活改良普及員	
	山口 知子	元生活改良普及員	
	広澤 富美子	元生活改良普及員	
	岡村 恵美子	元生活改良普及員	
	西村 良子	元生活改良普及員	
	守末 道代	元生活改良普及員	
	山見 艶子	元生活改良普及員	
	三浦 美智子	元生活改良普及員	
	藤谷 幸子	元生活改良普及員	
	本間 明子	元生活改良普及員	
	堀江 新子	山口大学大学院東アジア研究科	
	古谷 桂子	山口大学大学院東アジア研究科	
	坪井 ひろみ		
	国信 耕士郎		
	大野 登世	JICA中国	
	安達 陽子	JOCV	

参加者合計 97名